

2025年6月18日

2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議

私立大学の研究力

学部学生数263万人（私立205万人）
公的資金を使わずに高等教育の拡大に貢献

情報・システム研究機構 監事

日本技術者連盟 会長

元芝浦工業大学 学長

村上雅人

大学の使命 Mission of the University

1 教育 education

2 研究 research

3 社会貢献 social contribution

教育研究を通して人材を育成し社会を支える
利潤の追求ではない!

教育・研究の活性化に重要な事項

4 グローバル globalization

教育研究に国境なし

5 ダイバーシティ diversity and inclusion

イノベーションは多様性の中から生まれやすい

若手や女性がいきいきと働ける環境をつくる well-being

女性が働きやすい環境は男性も働きやすい!

日本の大学の課題

「**学問の自由**」 academic freedom のはき違え

日本国憲法第23条

「学問の自由は、これを保障する」

研究・講義などの真理探究のための活動において

他者からの干渉や制限を受けない自由

よって

研究指導も講義も成績評価も担当教員の自由にできる

→ 学生の満足度低下の原因

グローバルスタンダードからの乖離

「学生に何を教えたか」ではなく「学生が何を学んだか」

を大切にする教育：学修者本位の教育

薄いスープを大量に飲ませ消化不良を起こしている

日本の学生は勉強しない!!（日米学生調査他）

私立大学では教育改革が進みつつある

改革しなければ学生が集まらない!

日本の学生は勉強しない!!

例外：理工系4年生

日本 28.6時間 アメリカ 16.6時間 (1週間)

(谷村、金子: IDE現代の高等教育 No.535 2009年)

卒業論文研究 (私立の99%も実施)

世界に誇れる究極のPBL学修 (アクティブラーニング)

ドイツで生まれ、アメリカで発展し、日本で花開いた

(ドイツ、アメリカでは大学の大衆化とともに衰退)

研究を通して、教員も学生も成長する

多くの学生が卒論研究で成長を実感

「大学に入学し、講義を聞くうちに、学問に対する興味を失った

研究室に入って、いやいや卒論を始めたが

そこで研究することの魅力に出会った

そして、教員 (研究者) への道を目指すことにした」

汎用力調査 (cf. PROG調査)

卒論を通して、社会人基礎力が大きく伸長!!

卒業論文研究（修士論文研究）

産業界から非難

悪しき徒弟制度

教員の趣味的研究の下働きに学生が悪用されている

課題（学問自由のはき違え）

1 教育研究内容が指導教員にゆだねられている

2 研究室という閉鎖的な環境の中で指導が行われている

3 成績評価が指導教員の恣意にゆだねられている

→ 私立大学では改革が進みだしている

複数の教員による集団指導体制

産業界との連携（研究テーマを提供）

シラバス（ルーブリック）による成績評価基準の明確化

研究力向上（大学院進学率の増加）

研究の基本的考え方

研究と教育は
不可分

教員は研究を通して、**自らを磨く**
最先端研究の場で学生を鍛える

○ 大学として組織的に支援する研究 (**産学連携**)
出口を意識した研究 (ERC: Engineering Research Center)
SDGs, robotics, IoT, mobile, materials, QOL

○ 個人の (独創的な) 研究 : creativity
やりたい研究を自由にやらせる
→ **イノベーション創出**

研究はひと 教員, 職員(URA), 学生 (大学院生)
教職学協働と産学連携

若手や女性がいきいきと研究のできる環境をつくる

公正な人事（採用、昇進）

研究環境の整備

予算の心配をせず安心して研究指導ができる環境

卒論研究、修論研究に対するサポート

学生数に応じた研究予算

学生の学会発表へのサポート（旅費、参加費）など

共同研究施設の充実

研究はひと

大学院生の熱意（教員と学生が意見を言い合える環境）

大学院進学は指導教員に魅力がなければならない

芝浦工大

グローバルマインドを有する若手教員や女性教員を積極採用

大学院進学率 25%(2012) → 40%(2021) → **50%**(2024)

共通機器センターの整備と支援

技術指導員の配置

産学共同研究にも利用



個人の研究室に閉じ込められ、有効利用されていない実験機器を
共通機器センターに集め管理：
教員、学生、留学生、産業界の共同研究者が誰でも使える状態に整備
→ **維持管理費、保守費、消耗品費は大学が負担**

**大学予算にて新規購入する機器は、多くの学生と教員が共同利用で
きるものを優先**

論文数 number of papers 2014 – 2019 (Web of Science, 2020.07.20)

大学名 (教員数)	2014	2015	2016	2017	2018	2019
千葉工業大学 (277)	196	194	172	226	249	197
工学院大学 (222)	144	189	204	214	204	186
芝浦工業大学 (320)	280	292	293	321	342	384
東京都市大学 (289)	150	159	173	244	198	179
東京電機大学 (407)	221	214	222	246	247	176
東京理科大学 (774)	1284	1210	1344	1436	1373	1276

私立大学出身の研究者
 日大教授 国際会議のPlenary talk
 東北大学准教授 日本学術振興会賞
 九大教授 NISTEPな研究者
 KMUTT教授 学科長

Masato Murakami
 Research Gate
Papers: 1254
Citations: 30100
h-index: 65

2021 THE Japan University Rankings (Private Universities)

THE世界大学ランキング日本版 (私立大学)

順位 (私立大学)	大学名		日本ランキング (2021)	世界ランキング (2021)
1	国際基督教大学	SGU S	11	-
2	慶應義塾大学	SGU A	12	601-800
3	早稲田大学	SGU A	13	801-1000
4	上智大学	SGU S	18	1001+
5	立命館アジア太平洋大学	SGU S	22	-
6	芝浦工業大学	SGU S	30	1001+
6	立命館大学	SGU A	30	1001+
8	東京理科大学		32	1001+
9	明治大学	SGU A	39	1001+
10	神田外語学院大学		41	-
11	同志社大学		43	1001+
12	立教大学	SGU A	44	-
13	豊田工業大学		45	-
14	学習院大学		47	-
15	関西学院大学	SGU A	48	1001+
16	中央大学		50	1001+
17	青山学院大学		52	1001+
18	津田塾大学		58	-
19	聖路加国際大学		60	-
20	関西外国語大学		62	-

研究力向上のための有用な国の支援

○大学院生への支援

(学費のために進学を断念あるいは国立大学に進学)

JASSO 奨学金返還 全額、半額免除枠

大学院生への国際会議出席、留学支援

グローバルネットワークの構築 研究力向上に有効

○院生、若手教員のキャリアパス支援

○研究基盤整備のための大学支援

(個人への支援とはしない)

○科研費等の競争的資金は広く浅く

選択と集中は間違い

1人10億円より 100人1000万円 (1000人100万円)

研究成果：費用対効果は少額のほうが高い